

東海・九州・東北

地区本部委員会を開催



東海地区本部
奥田委員長



九州地区本部
財前委員長



東北地区本部
小笠原委員長

2月24日東海地区本部（名古屋市内）、25日九州地区本部（北九州市内）、26日東北地区本部（秋田市内）において、地区本部委員会が開催され、2024春闘を含めた今後の活動方針が満場一致で可決されました。

各委員会に出席した辻村本部委員長挨拶では、「能登半島地震で被災された方々に改めてお見舞い申し上げます。復興には相当の時間を要するが、JR連合と共に精一杯の支援を行っていくためご協力をお願いし、今後起きうる大規模災害に備えて、日頃から防災意識を高めていただきたい。私達の身近で危険な事象や労災が起きており、危機感を持ち改めて安全について見つめ直してほしい。2024春闘は組合員の先頭に立って闘っていく。組織課題では全国において、もう一步踏み込んだ取り組みをお願いし、各種政策課題については、JR連合と共に取り組んでいく」述べられました。

質疑応答では、2024春闘・人事制度改善・組織課題・安全問題・政策課題等、多くの質疑が出され、執行部から集約答弁し、最後に団結ガンパローで委員会を終えました。